

1

（配点：100点）

次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。なお、この問題は、法的知識を問うものではない。

「JR東日本が時間帯別運賃を検討する考えを表明し、波紋を広げています。

Q① 時間帯別運賃というのは、文字通り、運賃が時間によって変わるということなんですか？

A はい、これは、JR東日本の深澤社長が会見で述べた話なんです。コロナショックの影響で、JR東日本では利用客が減って先月（6月）の鉄道営業収入が前年同月比の6割に落ち込んだ。これについて社長は、影響が長びくおそれがあつて、運賃見直しの検討を始めたと表明し、その例として時間帯別運賃の検討をあげたわけです。

Q② それは具体的にはどういうものなんですか？

A 会見では「混雑のピークをずらすような柔軟な運賃が考えられる」と話してます。そうするとたとえば、現在は、朝夕の通勤ラッシュ時も、昼間も、距離が同じなら、運賃も同じですが、これが、朝夕は、相対的に高く昼間は逆に相対的に安くなる、ということが考えられる。ちなみにこうした仕組みで、有名なのがロンドンで、たとえば地下鉄では、ピーク時は運賃が相対的に高く、オフピーク時は逆に相対的に安くなってます。そうやって運賃の高いラッシュ時を避けてもらえば、混雑の緩和が期待されると。

Q③ そうすれば、満員電車のいわゆる“3密状態”も、少しは緩和されることになるんでしょうか？

A 多くの人にとって、そこが一番気になる所だと思うんですが、ただ、これをもし導入するとなると、運賃体系を大きく変えることになる（…）。また、もし導入したとしても通勤時間をずらせない人は不利になるかもしれないし、それから通勤や通学などの定期は、一体どうなるのか？ もう鉄道利用者にとっては、気になる話がいっぱいですので、ぜひ論点や検討状況を早めに明らかにしてオープンな議論をしてほしいと思います。（竹田忠解説委員）」

（NHK解説アーカイブス（2020/7/20）より抜粋。出題にあたり一部省略・変更）

問1 「時間帯別運賃」の導入にはどのようなメリットやデメリットがありうるか、上の文章を踏まえて考察せよ。その際、鉄道をめぐるさまざまな立場からの利害を（コロナの問題に限定せずに）考えること。

問2 問1の考察を踏まえ、時間帯別運賃導入に対する自らの賛否を述べよ。論述にあたっては、考えられる反論にも触れ、それでも自説を擁護する理由を挙げること。